

学べる症状シリーズ Vol.1

骨粗鬆症

患者さんやご家族の中には「圧迫骨折」と聞くと「骨を潰された」と勘違いされ、激怒される方もいらっしゃいます。

JHAが受ける「賠償責任を負う可能性のあるご相談（120件/年）」のうち約半数が骨折です。多くは肋骨骨折ですが、腰椎骨折や大腿骨骨折というケースもあります。その中には一概に施術だけが原因とは言えず骨粗鬆症が遠因であることも少なくありません。

骨粗鬆症はサイレント・ディーズ（静かな病気）骨粗鬆症は、深く静かに進行しますので自覚できる症状が現れるのは、およそ50歳を過ぎてからといわれています。軽度な骨粗鬆症の段階で自覚できるものは①立ち上がる時に背中や腰が痛む ②重いものを持つときに背中や腰が痛む ③背中や腰が曲がる ④背が縮む などです。骨粗鬆症を知ることにより、施術から事故を未然に防ぐことが可能です。

【骨粗鬆症とは】

骨にはタンパク質やリンなどととも、多量のカルシウム（骨重量の約50%）が含まれています。しかし、骨に含まれるカルシウムなどの量（骨量）は若年期をピークに年齢とともに減ってきます。そして骨量が減少すると、骨の中の構造が壊れ、骨は非常にもろい状態になり（脆弱性亢進）、折れやすくなります。この状態が骨粗鬆症です。骨粗鬆症には、老化による骨粗鬆症の他に成長期や出産後などに起こるものもあります。

【骨粗鬆症になる割合】

骨粗鬆症は圧倒的に女性に多い病気で、女性では40～50歳代から急激に骨量が減少し、60歳代では2人に1人、70歳以上になると10人に7人が骨粗鬆症を起こすような状態になっています。一方、男性では60歳過ぎから徐々に増え、70歳以上では10人に4人程度です。現在、日本には1,000万人以上の骨粗鬆症患者がいると推定されています。骨粗鬆症は自覚症状が少ない病気です。代表的な症状としては骨折とそれに伴う痛みなどが中心になります。

【骨粗鬆症による骨折】

骨粗鬆症による骨折のほとんどは脊柱、大腿骨、あるいは橈骨に起こります。

1. 脊柱の骨折（圧迫骨折）

重いものを持ちたり、転んだりして普段より少し余計な力が体に加わっただけで、椎骨が変形します。椎骨の変形は上下からの圧迫によって起こるため全体が押しつぶされた状態を圧迫骨折と呼びます。圧迫骨折を起こした椎骨の数によって脊柱はさまざまな形に変形します。そのため、身長が短縮し姿勢や歩行の仕方にも変化が見られます。椎骨の変形が徐々に生じると、背骨やその両側の筋肉が次第に痛むようになります。痛みは、寝返りや起床、歩行開始時など動作を始めるときに生じます。

椎骨の圧迫骨折が起こると、神経の枝が圧迫され、腰や背中に突然激しい痛みが生じます。時には、胸やお尻に痛みを感じることもあります。

2. 大腿骨の骨折（大腿骨頭部骨折）

男女ともに60歳を越えると転倒などにより、大腿骨骨折を起こしやすくなります。大腿骨の骨折を起こすと寝込むことが多く、運動不足などから、さらに骨量が減少するという悪循環に陥り、高齢者では「寝たきり」の原因になることが少なくありません。

3. 橈骨の骨折

転んで手をついた際に起こる骨折です。橈骨の他、上腕骨頭部を骨折することもあります。

【診断法】

検査は最初の診断時と治療の効果を判断するため定期的に行われます。

1. 脊柱のX線検査

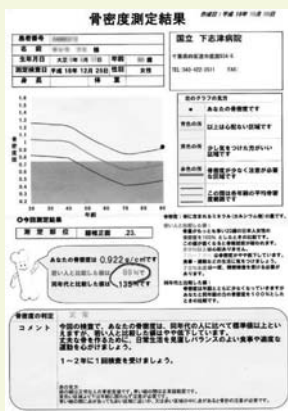
脊柱の老化には、骨粗鬆症の他に変形性脊椎症と脊椎周固帯骨化症とがあります。X線撮影で区別します。

2. 血液検査、尿検査

症状が骨粗鬆症と似ていながら、原因の異なる他の病気（骨軟化症、原発性副甲状腺症、前立腺癌骨転移、パーチエット病、悪性腫瘍骨転移など）を区別します。

3. 骨量測定

骨量を測定する方法には、いくつかの方法がありますが測定機器や測り方によって変わるため正確な診断や治療のためには継続して診察を受けることが大切です。



※測定結果サンプルはJHAホームページにてご覧いただけます※

骨粗鬆症に限らず各症例について、自院近くにある検査が可能な病院や検査方法および費用等を事前に調べておき、必要な患者に情報を提供していくことも信頼される治療院への一歩と言えるのではないのでしょうか

◎ JHANEWSのバックナンバーはホームページでご覧いただけます ◎

国家資格者
会員種別
正会員A 準会員

すべての手技療法家、施術家に
安心・安全を提供します

民間資格者
会員種別
正会員B

入会金無料

・無料相談（アドバイス）・手技療法に関する情報提供・当会ホームページへの求人情報の無料掲載・賠償責任保険の適用

【ご不明な点・詳細につきましては、お気軽にお問合せ下さい】

JHA 有限責任 日本治療協会
中間法人

URL: <http://www.jha-shugi.jp>

TEL: 03(5289)8171

FAX: 03(5289)8173

TEL 受付: 10:00～18:00(平日)

FAX 受付: 24時間年中無休

郵送先 〒101-8691 東京都神田郵便局 私書箱46号

E-mail: info@jha-shugi.jp